

2016年7月22日

防衛大臣

中谷元 様

安保破棄中央実行委員会

事務局長 東森英男

高江でのヘリパッド建設にむけた資材搬入等の中止を求める要請

防衛省・沖縄防衛局は7月11日早朝以降、新たなヘリパッド建設工事にむけて、訓練場メインゲートに機動隊や警備員を配置し、抗議する住民・市民を暴力的に排除して、大型トレーラーで資材や機材を搬入しています。また、ヘリパッド工事再開に向けて、全国各地から数百人規模の機動隊を高江に集結させる異常な事態となっています。

米軍ヘリパッドの建設は、希少種に富む貴重な自然を破壊するとともに高江地区住民の生活、子どもたちのすこやかな成長を脅かすものであり、断じて認められません。

すでにつくられたヘリパッドは、事故率が高く危険性が指摘されているMV22 オスプレイが使用しており、高江住民の生活への危険がいっそう増えています。

返還予定地のヘリパッドが撤去されないまま、新しいヘリパッドが使用されれば、ヘリパッドが増え、住民の負担は増すばかりです。

話し合いを求める住民に対して警察力を使って排除するやり方はこれまで見られなかったことであり、住民への姿勢が根本的に問われるものです。

以上の事態を踏まえ、下記事項の実現を強く求めます。

記

- 一.新たなヘリパッド建設にむけた工事と、それに向けた資材搬入などを中止すること。
- 二.高江住民と真摯に話し合いをおこなうこと。

以上